

# ルーティングとコントローラー

## ルーティング

Laravel のようなフレームワークでは、特定のエン트리ポイントに割り当てられたプログラムの処理が実行されるように作られています。そのようにエン트리ポイントと処理とを紐付けるのがルーティングという機能になります。

ルーティングを設定するファイルは、routesフォルダの中にある「web.php」にておこないます。

```
Route::get('/', function () {  
    return view('welcome');  
});
```

上記の場合は、「http://127.0.0.1:8000」と指定すると、「welcome.blade.php」というviewを表示します。

## コントローラー

コントローラーは、リクエスト処理全体の制御を担当します。  
コントローラーにより、関係するリクエスト処理を単一のクラスにグループ化できます。

コントローラーの作成



php artisan make:controller コントローラー名

```
<?php  
  
namespace App\Http\Controllers;  
  
use Illuminate\Http\Request;  
  
class コントローラー名 extends Controller  
{  
  
}
```

コントローラーは、Controllerクラスを継承します。作成するコントローラーのクラス名は、必ず「\*\*\*\*Controller」とクラス名の末尾をControllerとします。

## 課題

kadai01\_1